

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 巧文



■ 小野田・楠企業団地が売れました

先日、呉市に本社のある運送会社の関連企業が、今後の西日本の拠点基地として、待望の小野田・楠企業団地に進出を決めてくれました。当面、雇用には結びつきませんが、この10年間、トップセールスとして飛び歩き、随分苦労してきただけに、今回は1区画の2分の1の分譲とはいえ、ようやく進出第1号が実現し、腹の底から込み上げてくるものがあります。これで企業誘致の流れができそうな予感もしますが、本市としては、企業団地から国道2号までの道路の拡幅など更なる環境整備に努める必要があります。県への要望も続けますが、進出第1号の報には、市民のみなさんも歓迎してくれるのではないかと想像を巡らしています。

■ 知事の「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン(素案)」

村岡知事は、このチャレンジプランの取りまとめ(かなりボリュームがあります)に大変意欲的です。数か月で県下各地に何度も出掛け、多くの県民の声に耳を傾けています。先日は、県議会の本会議でもチャレンジプランを報告されました。

私も、県市長会の会長として取りまとめの席に出席しています。このプランは、県の現状や課題を踏まえて今後4年間の県政の目指す方向を示すもので、県の各種政策の基本方針となるものです。産業の振興・中山間地域の活性化・観光・福祉・教育など多岐にわたりますが、山

口県の地域力をより一層向上させる方向で、県民挙げて、知事と一緒にがんばりたいものです。

■ 市役所女性職員の登用

最近、県下13市の女性職員の登用状況がまとめられました。課長級以上の管理職に占める女性の割合は、1位が下松市24.0%、2位は本市で16.3%、3位は宇部市12.1%。以下、下関市、萩市、山口市の順になっています。

本市では、昭和40年代から50年代にかけて、当時の小野田市で13年間にわたり女性職員の新規採用がなかったことがあり、その後遺症が大きく響いています。本人の意欲と能力・適性をベースにしながら、近い将来、女性管理職の割合が30%を越える日が来るのを期待しています。

■ 一行詩

議員は夢を語り

市長は財布をのぞいて ため息をつく
(最近の愚作です)

